

人間動物関係学特論(二) (2単位)

担当者氏名 小川 博

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本特論がバイオセラピー学専攻における科目であることを踏まえ、様々な局面で人との密接な関わりが生じている動物について、その家畜化や歴史、行動特性とその管理、人と伴侶動物の共生などをテーマに講義する。具体的には、動物の行動の発達、感覚や学習能力、個体間のコミュニケーションなどの動物学的側面、使役犬の社会貢献などの側面、歴史の中の人と動物の関係などの側面について理解し、動物とのより良い関係を構築する知識を得ることを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

人と動物の共生 _____ 人と動物の関係 _____ 動物の行動特性 _____ 動物の社会貢献 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	生活科学としての動物学	暮らしの中の動物の位置付け	学問体系と関連分野を把握する。 動物の特性を把握し、動物管理に役立てる。 動物と人の関係および動物の社会的役割を理解し、その活用とより良い共生を考える。 事前学習を行い、教員に質問するなどして授業内容を理解するよう努めること。
2	動物の理解(1)	動物としての特性	
3	動物の理解(2)	動物の感覚能力と情報伝達手段	
4	動物の理解(3)	動物の学習能力と認知能力	
5	動物の理解(4)	動物の行動の発達	
6	動物の理解(5)	動物の品種	
7	人と動物の関係理解(1)	動物による生理的・心理的癒し効果	
8	人と動物の関係理解(2)	動物による社会的癒し効果	
9	人と動物の関係理解(3)	動物の社会的貢献	
10	人と動物の関係理解(4)	伴侶動物の社会的貢献	
11	人と動物の関係理解(5)	動物の福祉	
12	人と動物の関係構築(1)	動物の飼養管理	
13	人と動物の関係構築(2)	動物の利活用	
14	人と動物の関係構築(3)	動物との共生に関する課題	
15	授業の総括	授業全体のまとめ	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

適宜資料を配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門 (講談社) ほか、授業の中で提示する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポートの提出などにより評価する。

◆オフィスアワー

月曜日 11:00~12:00 火曜日 11:00~12:00 研究室で質問等を受け付ける

◆その他受講上の注意事項